

デッキ型定量止水付サーモスタット式混合栓
KM297(Z)JGIN3 (各仕様共通)

取扱説明書

●ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいいない「禁止」の内容です	この絵表示は、「分解禁止」の内容です	この絵表示は、「接触禁止」の内容です	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です
-------------------------	--------------------	--------------------	----------------------------

やけど、漏水をした場合の処置
やけど やけどをした場合は、すぐ、その箇所を水で流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。
漏水 漏水した場合は元栓、または止水栓を開けてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

<p>警告</p> <p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p> 85℃以上はダメ</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工及び接合等の改造はしないでください。</p> <p> 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p> やけど・けがをするおそれがあります。</p>
<p>警告</p> <p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p> <p> 分解禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いのときには吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。</p> <p> 接触禁止</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>	<p>湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。</p> <p> 確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>
<p>温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。</p> <p> 湯温を確かめて</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いの後は、必ず温度調節ハンドルの目盛を「40」以下に戻しておいてください。</p> <p> 40</p> <p>次に使用する時、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してから止水してください。</p> <p> 水</p> <p>次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>

<p>警告</p> <p>温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ハンドルはゆっくり回してください。</p> <p> ゆっくり</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>	<p>ストレーナの清掃は止水栓又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。</p> <p> 禁止</p> <p>ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>寒冷地仕様の場合</p> <p>水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>配管などの解氷のため、解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>		

<p>注意</p> <p>器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>吐水量設定ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。</p> <p> ゆっくり</p> <p>ゆっくり操作しないと漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>凍結が予想される際は、一般仕様をお使いの場合、水栓本体や配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p> 水抜き</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>		

〈修理のご依頼は〉お求めの取扱店または
 (株) INAXメンテナンス (ホームページアドレス <http://www.i-mate.co.jp/>)
 TEL ☎ 0120-1794-11 受付時間 9:00~22:00 [365日受付&修理]
 FAX ☎ 0120-1794-56

〈使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは〉
 (株) INAX「お客さま相談センター」 平日 9:00~19:00
 TEL ☎ 0120-1794-00 受付時間 土日・祝日 10:00~18:00
 FAX ☎ 0120-1794-30 (夏季、年末年始の休みは除く)

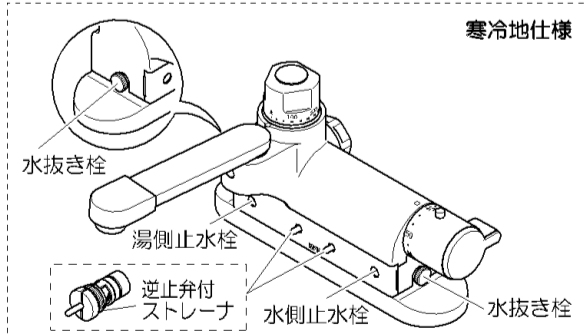
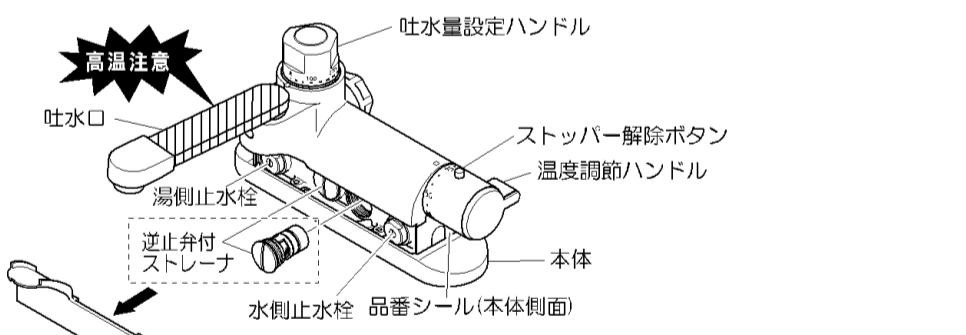
製造元
株式会社 KVK
 本社・工場 / 〒501-1195 岐阜市黒野308
 TEL / 058-239-3111 代表
 インターネットホームページ
<http://www.kvk.co.jp/>

ご使用の前に / ご使用方法

給湯機の使用上のご注意

- ・給湯機の給湯温度は、必要とする吐水温度より10℃以上高くしてください。なお、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ・吐水量が多すぎる場合は、止水栓であらかじめ流量調節を行ってください。
- ・給水圧力が低い時や水温が高い時は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は給湯機の設定温度を少し下げてください。(瞬間型の場合)

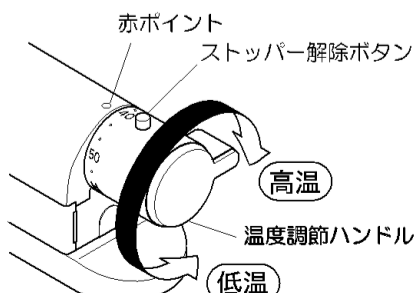
各部の名称



温度調節方法

温度調節ハンドルの目盛を表示ポイントに合わせます。目盛「40」を目安にしてください。高温に回しますと、目盛「40」を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。(温度:約42~45℃) それ以上の高温を出すときは、ストッパー解除ボタンを押しながら回してください。使用後は目盛「40」以下に戻してください。

【注意】目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。



吐水量設定ハンドルの使用方法

吐水量設定ハンドルを左へ回すと湯水が出ます。浴槽の大きさに応じて、ハンドルの目盛(L)を赤ポイントに合わせます。(1回の最大吐水量約300L)
 (例) 200L をセットする時は、ハンドルを目盛「200」に合わせてください。
 ハンドルは計量しながら自動で元へ戻り止水します。計量以外で使用する場合は、目盛範囲でハンドルを回し吐水します。「止」に合わせ止水します。



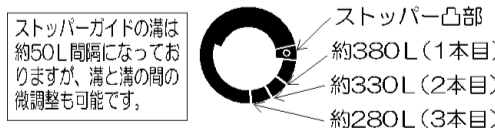
【警告】湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
 【注意】吐水量設定ハンドルはゆっくり操作してください。急な操作はウォーターハンマー(水撃)音が発生し、漏水の原因となります。
 【お願い】100L以下をセットする時は、ハンドルを一度「100」以上回した後目盛を合わせてください。
 ※本品は計量機器ではありません。吐水量設定設定ハンドルの目盛は吐水量の目安としてください。

最大吐水量の変更方法

ストッパーガイドを調節することで、浴槽の大きさに合わせて、最大吐水量を変更することができます。(工場出荷時は最大吐水量約300Lに設定してあります。)

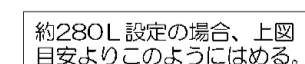
- ① 吐水量設定ハンドルを止水の位置(カチッと音がする)にします。
- ② 吐水量設定ハンドルを回転させないように注意してストッパーガイド(黒色)をはずします。
- ③ ストッパーガイドを本体側の目盛位置に、設定量を合わせてはめ込んでください。
※ストッパーガイドの溝は約50L間隔になっておりますが、溝と溝の間の微調整も可能です。
- ④ 吐水量設定ハンドルの「止」を本体の赤ポイントに合わせてはめ、はすした逆の手順で組み込みます。

ストッパーガイド最大吐水量の目安

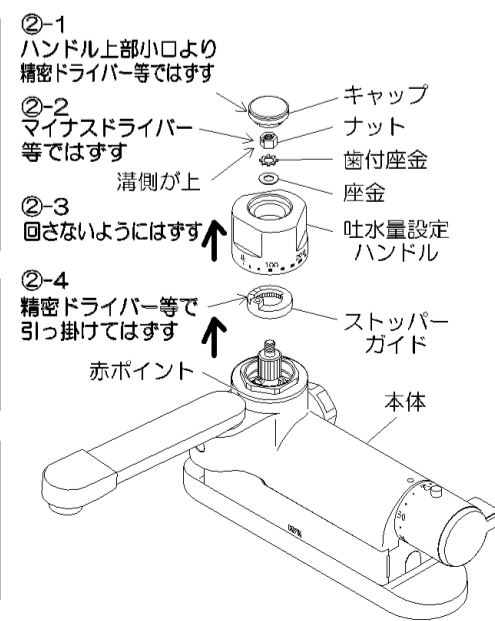


※ 吐水量は多少ばらつくことがあります。あくまでも目安量とお考えください。

ストッパーガイド装着例



本体側目盛位置



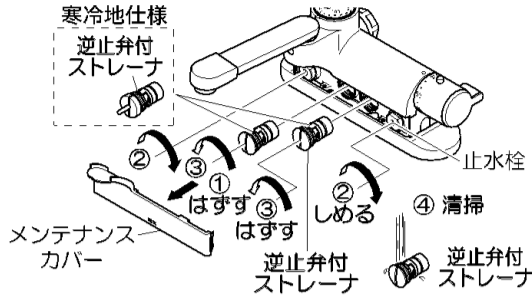
日常のお手入れ・保守

ストレーナの清掃方法

本体のストレーナ清掃

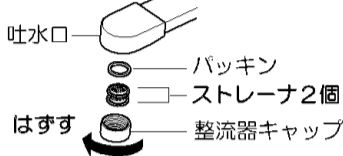
本体のストレーナにゴミがつまると、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合がありますので、定期的に清掃してください。
【△ 警告】・ストレーナの清掃は、止水栓又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 ・湯側ストレーナの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

- ① 正面下側のメンテナンスカバーをはずします。(カバー横のツメを持って手前に引きます。)
- ② 湯水の止水栓〔2カ所〕又は元栓をしっかりと締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ③ 逆止弁付ストレーナ〔2個〕を取りはずします。
- ④ ゴミ・水アカ等を洗い流します。清掃後は上記の逆の手順で組み込んでください。逆止弁付ストレーナを締め込む時、吐水量設定ハンドルを吐水状態にしてください。



吐水口のストレーナ清掃

吐水口のストレーナがつまると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。
 ① 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。



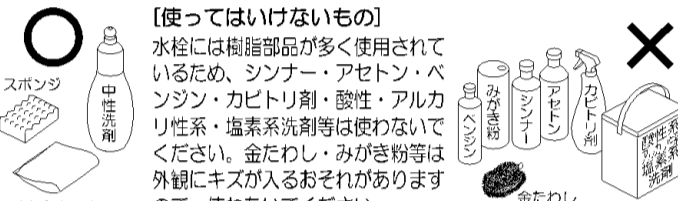
お手入れ方法

【軽い汚れの場合】

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

【ひどい汚れの場合】

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭き取ります。



【使ってはいけないもの】

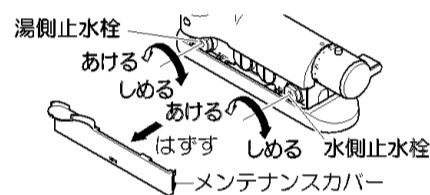
水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。

【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。

一般地仕様は正面下側のメンテナンスカバーをはずしてから調節します。(カバー横のツメを持って手前に引きます。)



温度調節ハンドルの設定方法

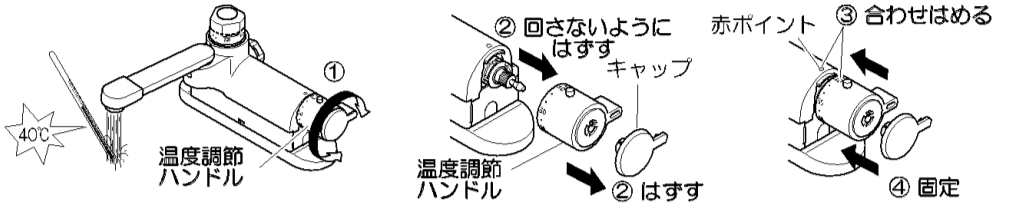
工場出荷時に温度調節をしています。取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズれている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

【はじめに確かめてください】

- ・止水栓を全開にしているか確かめてください。
- ・ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。
- ・給湯温度(60℃以上)の湯が給湯できているか確かめてください。※推奨温度は約60℃です。

- ① 全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。
- ② キャップをはずし、温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。
- ③ ハンドルの「40」の目盛を赤ポイントに合わせてはめます。
- ④ キャップにて固定します。

【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。
【△ 注意】目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。

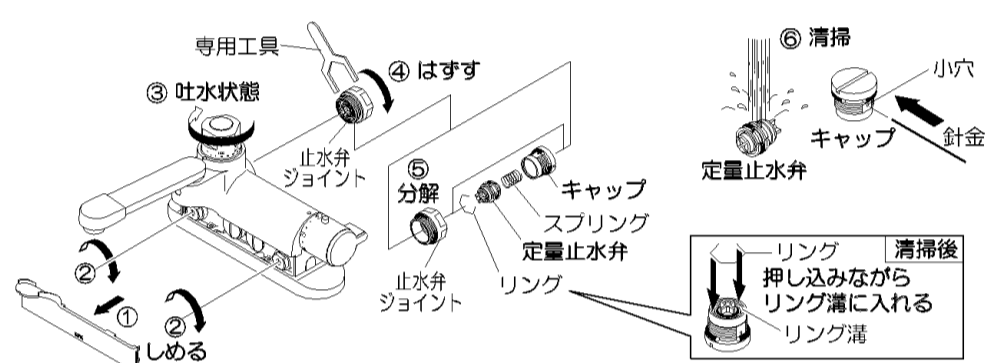


定量止水弁の清掃方法

定量止水弁がつまると、きちんと定量できなくなったり、湯水が止まらなくなりますので、定量止水弁は定期的に清掃してください。

【△ 警告】定量止水弁の清掃は、止水栓又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。定量止水弁をいきなりはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ① 一般地仕様は正面下側のメンテナンスカバーをはずします。(カバー横のツメを持って手前に引きます。)
- ② 湯水の止水栓〔2カ所〕又は元栓をしっかりと締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ③ 吐水量設定ハンドルを吐水状態にします。(この時、吐水していないことを確認してください。)
- ④ 本体後ろの止水弁ジョイントを取りはずします。(同種の専用工具を使用してください。)
- ⑤ 止水弁ジョイントからキャップを取り出し、リングをはずして分解します。
- ⑥ キャップの小穴を細い針金等で清掃し、定量止水弁は水洗いします。清掃後は逆の手順で組み込んでください。



【△ 注意】止水弁ジョイントは、吐水量設定ハンドルを吐水状態にしてから締め込み、吐水状態にしたのち、再度確実に締め込んでください。しっかり締め込んでいないと漏水のおそれがあります。

水抜き方法<凍結が予想される場合>

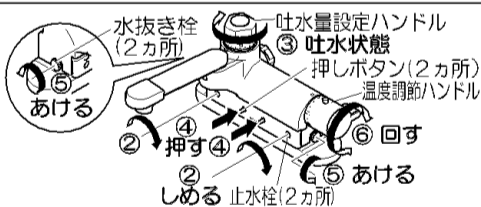
【△ 注意】凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

寒冷地仕様水栓の場合

器具のみの水抜き (配管に水抜き栓がない場合)	配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合)	操作
	①	配管の水抜き栓を操作します。(給水元の水抜き栓の操作)
②		湯水の止水栓(2カ所)を締めます。
③	③	吐水量設定ハンドルを吐水状態にします。
④	④	押しボタン(2カ所)を押します。(ボタンは通水時に自動復帰します。)
⑤	⑤	水抜き栓(2カ所)を開けて水を抜きます。
⑥	⑥	温度調節ハンドルを「H」に回して水を抜き、「C」に回して水を抜きます。

【△ 警告】

・解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



水抜き後 通水を再開する

【お願い】必ず水抜き栓がしまっていることを確認して、吐水量設定ハンドルを「止」の位置にしてから通水してください。通水を再開しても水が出ない場合……吐水量設定ハンドルを吐水状態にして、しばらくお待ちください。これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。

一般地仕様水栓の場合

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。
 ・水栓本体部や配管部に布を巻きます。

【△ 警告】解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。

通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

定期的な点検

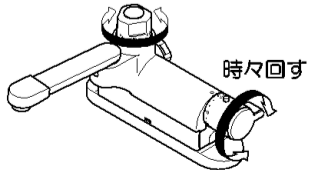
安全・快適にご使用いただくために、定期的な点検をおこなってください。

温度調節ハンドルの操作性 (1ヶ月に1回程度)

【△ 注意】時々温度調節ハンドルをいっばいに回してください。温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水アカなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

【吐水量設定ハンドルの操作性】

時々吐水量設定ハンドルをいっばいに回してください。吐水量設定ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水アカなどが付着し、吐水量設定機能が損なわれるおそれがあります。



配管まわりからの水漏れ (1ヶ月に1回程度)

【△ 注意】配管まわりから水漏れがないか確認してください。部品の劣化・磨耗などにより継続的な漏水につながりますので、配管まわりの点検を行ってください。

定期的な部品交換 (部品は水栓の種類によって異なります)

	使用年数											
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
取付日	お客様による日常のお手入れ・点検											
	消耗部品の交換 (こまパッキン等)											
	磨耗劣化部品の交換											
	買い替えご検討											
部品の交換	部品が磨耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。 ・磨耗・劣化部品の例 (水栓の種類によって異なります) 例) カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等											
【△ 注意】	中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。(逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください。逆止弁は仕様により付いていないものがあります) 部品交換のご依頼は、取付店・販売店または(株)INAXメンテナンスにご連絡ください。											
補修部品の供給期間	この製品の補修用部品 (機能維持に不可欠な部品) の供給期間は製造中止後10年です。											

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	吐水量設定ハンドルは止水位置に合っていますか	吐水量設定ハンドルを止水位置に合わせる	4ページ「吐水量設定ハンドルの使用方法」
定量止水弁ができない	定量止水弁にゴミ等がつまっていますか	定量止水弁を清掃する	6ページ「定量止水弁の清掃方法」
吐水量が少ない	止水栓は十分に開いていますか	止水栓を開ける	5ページ「流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	5ページ「ストレーナの清掃方法」
	定量止水弁にゴミ等がつまっていますか	定量止水弁を清掃する	6ページ「定量止水弁の清掃方法」
	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	—
高温しが出ない	水側止水栓は十分に開いていますか	止水栓を開ける	5ページ「流量の調節方法」
	湯側止水栓は十分に開いていますか	止水栓を開ける	5ページ「流量の調節方法」
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水栓は十分に開いていますか	止水栓を開ける	5ページ「流量の調節方法」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	5ページ「ストレーナの清掃方法」
吐水が飛び散る	温度調節ハンドルの設定は合っていますか	温度調節ハンドルの設定を確認する	6ページ「温度調節ハンドルの設定方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	5ページ「ストレーナの清掃方法」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△ 注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店または(株)INAXメンテナンスにご依頼ください。